

「ジウム・ジュエリー戦略」

パラジウム・ジュエリー

市場の底上げとパラジウム・ジュエリーの普及(認知と啓蒙)部: 米国、森仁志日本代表)は、2012年を「パラジウム元年」

て、パラジウムの特性や魅力など販売やづくりに必要な正しい業界の認知度を高めてきた。

ビジネスのあり方に大きな変革を迎えているなかで一企業や「パラジウム・ジュエリー」の普及に共感してくれる協会・団体・をつくっていくことにした。

て楽しむものであり、幸せを感じるもの、そんな消費者を応援しえる。



色味、重量感など 目的によっては最高の素材

OKURADO



ハイジュエリーをひとつひとつ自社内ですべて製作している国内有数の高級ジュエリーブランドの「OKURADO」から、パラジウム協会が設立される3年前に製作された作品、大ぶりの桜の髪飾り(ブローチにもなる)にパラジウム素材が使用されている。

なぜパラジウム素材を選択したのか聞いたところ、大倉社長は「製作に入る前から、パラジウム素材というのは白金族の一種で、プラチナに近い白色として非常に色味が綺麗な素材であるということは知っていました。見ていただくと分かるように【写真参照】、大ぶりの桜のモチーフの髪飾り(ブローチ)になっています。繊細なデザインや漆の使用などこだわりはたくさんありますが、髪飾りとしてつけている際やブローチとして身につけてもらうことを考えた結果、最終的にパラジウム950の使用にたどり着きました」と、ブローチとして使用するための素材選びであったと説明。

「パラジウムを選ぶ前には、ホワイトゴールドも検討しました。しかし計算してみると、やはり重さが問題で、ブローチとして身につければ「おじぎ」してしまう恐れがありました。その点、パラジウム素材は軽量であり、色味についても経験上綺麗なことは知っていましたので、パラジウムに決めました」と、すでにパラジウムを、プラチナや金などと同じく、素材のひとつとして捉えていた。

「『OKURADO』は、新しい素材の使用に挑戦したい気持ちがあつて、ひとつのコンセプトにもしております。漆の使用もその一環で、ハイジュエリーだからプラチナじゃないといけなとか、

ダイヤモンドを使用しなくてはいけないみたいなどところにとらわれたいくはないのです。かといって、新素材ありきでのづくりは行いません。色味や重さ、それぞれの素材の特徴を活かしてのデザインなどを考えた総合的な結果として素材選びが成立すると思います。その素材を扱う技術を持っていることが前提となりますが、作り手としていろいろな提案を行えるためにも、パラジウムはプラチナと同じくひとつの素材であると捉え、ひとつの選択肢であります。目的によっては、プラチナよりも最善の素材にもなると思います」と、目的に応じた素材選びが重要で、総合的な考えの上で素材選びがあることを教えてくれた。

「OKURADO」は、世界に誇る日本人の美意識をジュエリーに吹き込み、咲かせ、そして輝かせる。伝統の技に新しい素材や技法を果敢に取り入れながら、OKURADOの工房は日々、新しい「日本の美」の創造に全身全霊で向き合っている。

OKURADO www.okurado.com
ジュエリーコンシェルジュ大倉 www.jcokura.jp



今年に入りパラジウムの認知度が急激に高まっている 有楽町マリイアクセ・ジュエリー売り場の渡部久美子リーダーに聞く

「マリイの中でも大人向けのコンセプトを持つ有楽町マリイ。2007年10月にオープンして5年を数える同店のアクセ・ジュエリー売り場にあるジュエリーアンジュールは、8坪に満たないコーナーだが、6人体制でブライダルジュエリーを販売している。その売り場のリーダーである渡部久美子さんは「今年に入ってからパラジウムの認知度が急激に高まっているように思います。お客様の10人中、6人はインターネットなどでパラジウム情報を見ていらっしやる為、パラジウムに関する知識に詳しく、とても

ブライダルの買い方にも変化が

その訳は、「最近では、セカンドマリッジとしてご購入される方も増えてきています。若い方だけでなく子育てが終わった50代後半の人たちは、ダイヤモンドのブライダルリングよりポリウレタン感のあるパラジウムブライダルに買い替えています。軽くて白く、酸化しにくいパラジウムの特徴を良くご存知で、年代に合ったブライダルのバリエーション選びが可能になってきているように思います」と分析する。

「銀座をバックに持つ有楽町店の特徴は、平日と土曜・日曜日の時間帯で客層が違うという。平日の午前中は、お母さんと娘さんが、夕方になると会社帰りのOLやサラリーマン、土曜・日曜日はカップルと家族連れ。平日の昼間は、パラジウムの情報をお手取り知らない人たちが、逆に土・日はゼクシーやネットで素材情報を知り尽くしたお客様で、素材の説明を

Something Blue®



ヨーロッパに古くから語り継がれてきたサムシングブルー。結婚式の日に身につけると幸せになれるという、4つのサムシングのひとつ、サムシングブルーをリングの内側に秘めました。青く澄んだサファイアの輝きは、ふたりだけが知る幸せのパワーです。